

7. 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・ 評価方法	指導・援助
1	みんなが納得できるような、よりよい意見にまとめるための話し合いをするためには、意見を出す人は、話題からそれないようにしたり、立場をはっきりさせたり、自分の経験を入れたり、他の人の意見を取り入れたりすることが大切であると理解することができる。	みんなが楽しめる学年イベントにするために、これから話し合っていくときに何が大事になるか考える。 今までの話し合いをふりかえって、私たちのクラスの話しの問題点を考える。 問題点を直していくためにはどうしたらよいか考える。(教科書の話しの例を聞いたり、役割に分かれて読んだりして、その中からも発言者の立場で解決の方法を見つける。)話し合いをするときに大切なことをまとめる。	自分たちの学級の話しの問題点から解決する方法を考えることができる。 CDを聞いて意見を出すときに大切なことを見つけることができる。	一つの意味決定をめざして話し合うことの難しさを自覚させる。 教科書の話しの例をモデルとして模造紙に書いて掲示する。
2	みんなが納得できるような、よりよい意見にまとめるための話し合いをするためには、話し合いを進行する人は、話題を確かめたり、話題がそれたら元に戻したり、所々で意見を整理したり、結論をまとめ参加者に確かめたりすることが大切であると理解することができる。	学級の話しの問題点を振り返る。 教科書の話しの例CD1「一年生に読んであげる本を決めよう」を進行係の発言に注意を払いながら聞いたり、読んだりして、解決の方法を見つける。話し合いを進行するときに大切なことをまとめる。	CDを聞いて話し合いを進行するときに大切なことを見つけることができる。	教科書の話しの例をモデルとして模造紙に書いて掲示する。
3	学級会を行い、みんなが納得したり、よりよい話し合いにするために、話題からそれないようにしたり、立場をはっきりさせて、発言するという話し合いの仕方が大切だと分かる。	個人のめあてを確認する。 自分たちで話し合いたいと決めた話題について話し合いを行う。 話し合いをして、自分の発言の内容について振り返る。 本時のまとめをする。	話題にそれないようにしたり、立場を明確にしたりすることで話し合いがまとまっていることに気づくことができる。 机上のカードで評価する。	前時の学習で見つけた話し合いの仕方の大切なことを模造紙に書いて掲示したり、個人評価カードにまとめる。 ビデオに録画する。
4	ビデオを見ながら、自分たちの話し合いが、みんなが納得したり、よりよい話し合いにするために、話題からそれないようにしたり、立場をはっきりさせた話し合いであったか振り返る活動を通して、自分の課題を見つけることができる。	ビデオを見る。 話し合いを見て、よかったところや改善するとよいところを交流する。 本時のまとめをする。 次時の課題を持つ。	話題にそれないようにしたり、立場を明確にした話し合いになったか振り返り、次時の話し合いでの自分の課題をもつことができる。	話し合いの仕方の大切なことを模造紙に書いて掲示する。 ビデオを途中で止めて、子どもの発言の仕方で良かったところを広める。

5	<p>みんなが納得したり、よりよい話し合いにするために、話題からそれないようにしたり、立場をよりはっきりさせたり、聞いたり発言したりする活動を通して、話し合うことができる。</p>	<p>個人のめあてを確認する。 前時にビデオを見て振り返ったことをふまえ、自分たち話し合いたいと決めた話題について、学級で話し合いを行う。 話し合いをして、気づいたことを発表する。良かったところや、改善すると良いところを交流する。 これからの話し合いで、自分に取り入れたい点を振りかえる。 本時のまとめをする。</p>	<p>話題にそれないようにしたり、立場を明確にしたり、自分の経験を入れたり、ほかの人の意見を取り入れたりして話し合うことができる。</p>	<p>前時の学習で見つけた話し合いの仕方大切なことを模造紙に書いて掲示したり、個人評価カードにまとめる。 ビデオに録画する。</p>
6	<p>みんなが納得したり、よりよい話し合いにするために、話題からそれないようにしたり、立場をはっきりさせたり、自分の経験を入れたり、他の人の意見を取り入れながら、聞いたり発言したりする活動を通して、話し合うことができる。</p>	<p>個人のめあてを確認する。 今までの学習を活かして学級で学年イベントの話し合いを行う。 話し合いを振りかえる。</p>	<p>話題にそれないようにしたり、立場を明確にしたり、自分の経験を入れたり、ほかの人の意見を取り入れたりして話し合うことができる。</p>	<p>前時の学習で見つけた話し合いの仕方大切なことを模造紙に書いて掲示したり、個人評価カードにまとめる。 ビデオに録画する。</p>

8. 本時の目標

学級会を行い、話題からそれないようにしたり、立場をよりはっきりさせたり、聞いたり、発言したりする活動を通して、みんなが納得するよりよい話し合いの仕方を学ぶことができる。
(5/6)

9. 本時の展開

	学習活動	指導・援助(評価規準)	留意点
導入	前時を振り返り、学習課題を確認する。 ・個人のめあてを確認する。	・前時の学習を壁面掲示を使って振りかえる。	・前時の学習で見つけた話し合いの仕方の大変なことを模造紙に書いて掲示する。 ・前回の話し合いから自分のめあてをたてる。
課題化	話し合いがまとまっていくように、話題からそれず、立場をよりはっきりさせて話し合おう。		・みんなのために、学校をきれいにしたいという願いでクリーン作戦を始めたことを確認する。
課題追究	話し合う課題を確認する ・冬のクリーン作戦をどんな活動にするかについて話し合う。 学級会を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話す人</div> <ul style="list-style-type: none"> ・話題からそれない。 ・立場をはっきりさせて話す。 ・(理由に自分の経験を入れている。) ・(仲間の意見を取り入れて話す。) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">進行係</div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う話題を確かめる。 ・話題がそれたら元に戻る。 (校内のゴミ拾い) いつもきれいな学校でいたいから。時々、廊下でゴミが落ちているのを見る。 (雪かき) 歩きやすい。先生たちが去年やっていたよ。 (玄関のフローア掃除) 冬は、塗れていると凍って滑るから危ない。 (トイレのスリッパそろえ) いつもきっちりできていないので、スリッパがそろえば学校もきれいになるのでは。	・大切カード(特に本時個人でめあてにしているカードが分かるように)を机におく。 発言できない。事前に話し合う内容を伝えておくので、自分の意見を持たせておく。ねらいを意識できない。カードを手元に置くことで常に目を向けさせる。 まわりが見えず、意見を主張する。進行係、教師が声をかける。 ・発言ごとに自分のカードで評価していく。	・みんなのために、学校をきれいにしたいという願いでクリーン作戦を始めたことを確認する。 ・進行係は、マニュアルにそって進めていく。 ・話し合いたい話題がずれていかないように進行係が時折確認する。 ・「みんなが納得するような、よりよい意見にまとめる話し合いにしたい」という目的意識を意識させる。 ・子どもたちが見つけることができなかつた姿があれば、交流の場で認め広めていく。
評価	今日話し合いを振り返り、これからの話し合いで自分に取り入れたい点をまとめる。 ・さんのように話題からそれないようにしたい。 ・さんのように賛成・反対などの立場をはっきりさせたい。 ・自分の立場をはっきりさせて話すことができたので、次は、自分の意見と他の人の意見を比べながら話したい。 ・進行係のさんは、時々みんなの意見を整理していたので、私もまねしたい。	・次時の話し合い活動に活かすためには、どこをまねしてどこを改善すると良いかを見つけて話せるように働きかける。	
まとめ	次時、みんなが納得するような、よりよい意見にまとめられる話し合いができそうか確認する。	・2つから4つのポイントが使えたかをカードを使って自己評価しながら次時の話し合いでの個人のめあてを考える。	・次時の話し合いで今回できなかったポイントについて話せるように押さえておく。

